

利用学習計画書

平成24年4月6日

担当 第6学年 阿部 謙

1 ねらい

身近な地域に残されている遺跡や遺物を見学し、当時の人々のくらしを体験したりすることによって歴史遺産への興味関心を高める。

2 評価

《関心・意欲・態度》

身近にある遺跡や遺物に関心を持ち、当時の人々のくらしや社会の変化について進んで調べようとしている。

3 学習活動について

社会「米作りのむらから古墳の国へ」★米づくりが始まる前の時代

教室では、主に資料集を使ってその時代のくらしや社会の様子について学習しているが、実際出土品を見たり、当時のくらしを体験活動することによって、歴史への興味関心を高め、知識を確かなものにしたい。

4 事前指導

- ・旧石器時代、縄文時代のくらしを教科書や資料集を使って学習する。
- ・富沢遺跡、山田上ノ台遺跡のあらましについて学習する。

5 当日の指導（活動）内容

① 地底の森ミュージアム

（1）見学学習

- ・全体で講師の説明を聞きながら、地下展示室を見学する。
- ・学習ノートを活用して、1階展示室を自由見学する。

（2）体験学習

石器づくりをする。

② 縄文の森広場

(1) 見学学習

- ・講師の説明を聞きながら、復元住居、遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学する。
- ・探検シートを活用して、自由見学する。

(2) 体験学習

- 勾玉づくりの体験をする。

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

- (1) 学習ノートで調べたことや体験したことを振り返る。
- (2) 自分で学んだことを新聞などにまとめる。
- (3) 作った勾玉を鑑賞しあう。

利用学習報告書

平成24年6月19日
担当 第6学年 阿部 謙

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年4月13日(金) 1～4校時

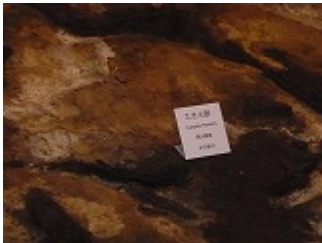
(2) 主な内容

社会科・国語の授業で・・・新聞にまとめて、みんなに知らせる活動

2 送付する資料 新聞の写し(4人分)

地底の森ミュージアム 学習後のまとめと感想

1. 遺跡あとの見学



2万年前のようすに
びっくりしました。

何で当時の様子が再現
できるのか不思議でした。

2. 展示学習



河北新報社の
取材を受けま
した。

3. 石器づくり



こっこっ—
生懸命です。

4. 学習のまとめ

国語の学習と関連させ、新聞を作りました。



5. 教師の感想

子どもたちは、2万年前の遺跡の様子や、展示品にびっくりしたようです。
石器づくりもよい経験となりました。

職員のみなさん、ボランティアのみなさん、ありがとうございました。

松陵小学校 6年1組担任 阿部 謙